

**小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表**

法人名	株式会社 ウェルフェアネット	代表者	平山 正明	法人・事業所の特徴	開設して10年以上が過ぎ、50代から90代の方に利用して頂いている。グループホームさわやかテラス大野城中央が併設されており、廊下で繋がっているため利用者・スタッフの行き来もあり協力体制がとられている。「あるがままに 楽しく ゆったりと」を家訓に利用者や家族の様々な思いに寄りそいながら、自宅で生活するということ・その人らしさは何かを日々考えている。開設前から地域の方が積極的に関わってくださり、地域の恩恵も受けている。					
事業所名	さわやか憩いの家 大野城中央	管理者	田中しのぶ							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	4人	2人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・改善計画を取り組む優先順位をチームで話し合い、一つ一つ達成出来ているか確認しつつ、出来たことを増やしていく	・朝の申し送りの定着化など、各目標に対して2/3は達成出来ている。 ・1/3は達成出来ていない部分と課題がみえているため、来年度は、出来なかつた部分や課題を取り組んでいく。	・人権、プライバシーの事項は高齢者虐待に繋がる重要な事項です。職員間の情報や危機意識の共有を徹底して頂きたいです ・常日頃から問題意識を持ち今できることを確実にクリアしていくことが大切と思われます	・改善計画を取り組むにあたって、自己評価シートの「4、地域での暮らしの支援・7、運営・8、質を向上するための取り組み・9、人権・プライバシー」を優先的に行っていき、3ヶ月ごとに出来ているかの確認を行っていく
B. 事業所のしつらえ・環境	・清潔清掃を継続していく ・定期的な掃除が出来ているかカンファレンスにて確認していく	・清潔清掃は継続出来ている。 ・定期的な掃除の確認は出来たが、担当によっては出来ていない月もあったため、定期的な掃除箇所の定着を目指すことが出来れば。	・家庭的な雰囲気で、鍵がかかっておらず自由に出入りができる、スタッフの方々のケアに対する姿勢が安心感を与えていると思います ・コロナ禍で外部からの来訪者が少くなり、外部からの目がないことで掃除が疎かになりがちですが、定期的に自主点検もされており努力されていると思います	・清潔・清掃を行っていき、カンファレンスにて、出来ていない部分を伝えていく ・花壇や畑を充実させる
C. 事業所と地域のかかわり	・今後も継続して地域行事へ参加していく ・ゴミゼロ運動への参加と、その日に限らず事業所前の清掃を行っていく	・ハロウィン等、参加することが出来る地域の活動へは参加が出来た。 ・事業所の前の掃除は定期的に出来なかつたため、行える様にしていきたい。	・以前から地域に根ざした取り組みを行われており、地域の方にも知られた施設になっていると思います。また、相談しやすい場所にもなっていると思います ・挨拶はよく出来ていて、いつも明るく気持ちよく接してください	・公民館へ足を運び、地域行事の把握を行い、参加できるものは参加していく ・ゴミゼロ運動への参加、事業所周囲の掃除の継続
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・より地域へ目を向けていくためにも、エコマップを活用出来る方からすすめていく	・地域の関わってくださっている方の情報はカンファレンス等で共有出来たが、視覚化するまでには至らなかった。エコマップ作成を少しづつ進めていきたい。	・地域とのつながりを大切にしていきたいという方針が徐々に浸透してきていると思います ・地域行事を把握及び利用者の地域行事への関心度合いを確認してほしい	・アセスメントシートにて、本人さんの地域の情報を深めていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	・ZOOMなどを活用し、顔のみえる地域運営推進会議を継続していく	・ZOOMによる地域運営推進会議は継続することが出来た。 ・来年度も、顔のみえる地域運営推進会議を継続していきたい。	・内容ある会議が出来ていると思います ・運営推進会議はオンラインにより実施されており、利用者の状況表やさわやか通信、身体拘束等適正化委員会の話し合いの結果など分かりやすい資料を作成していただき、会議においてもしっかりと取り組んでいく	・顔の見える地域運営推進会議を継続していく（オンラインもしくは対面にて）
F. 事業所の防災・災害対策	・防災訓練の日程が決まれば、いこい便りなどでお知らせしていく ・被災想定など、まずは三分の一の利用者の完成を目指してすすめていく。	・BCPをもとに、小規模訓練が昨年度よりも充実して取り組むことが出来た。 ・被災想定の充実や防災訓練の周知を、来年度は、深めていきたい。	・継続的に行い、テーマを持って実施してほしいと思います ・いろんな災害を想定し、職員の方の意識の向上及び役割分担を常に確認し合い利用者の安心・安全に取り組んでほしい	・日々の点検（見回りチェック）を行なう ・事業所の防災設備の把握に努める ・被災想定を充実させた防災訓練を行う

